スポーツ賞顕彰を制定
1号は黒岩彰選手濃厚
―県―

県は二十五日、県内で最も権威あるスポーツ賞として、新たに「県スポーツ賞顕彰」を制定することを明らかにした。これは国内外のスポーツ大会で活躍した選手や団体を表彰する県の現行表彰制度を一元化したもので、公布は三十日。この中にはスポーツ栄誉賞も設定され、同賞の受賞第一号は、今年のスピードスケート・世界スプリントで日本人として初めて総合優勝した黒岩彰選手（嬬恋高―専大）が極めて濃厚になった。

スポーツ選手を表彰する県の現行制度には、県功労者表彰、県総合表彰、国体参加優秀選手表彰、身障者スポーツ大会参加優秀選手表彰などがある。ところが県功労者、県総合表彰の対象はそれぞれの分野で長年にわたり活躍し、功績のあった人が中心で①大会の成績を基準にしたスポーツ選手の表彰になじまない②現行制度では表彰の手続き上大会終了後、一年近くも経過してしまう③重複表彰―などが指摘されていた。

このため、県が全国に先がけて"スポーツ県宣言"をした経過や、あかぎ国体も開催することから、独立した権威あるスポーツ賞の新設が関係者の間で望まれていた。

制定される県スポーツ賞は、県スポーツ界で優れた成果を挙げるなど、多大な功績のあった選手や団体を顕彰しその栄誉をたたえ、スポーツの振興や郷土意識の高揚を図る―がその趣旨。

顕彰の種類は「スポーツ功労賞」「優秀選手賞」「スポーツ栄誉賞」の三つ。対象となるのは、栄誉賞がスポーツの分野において業績が抜群で、社会に明るい希望を与えた選手。功労賞が、優秀な選手および国体の育成指導に功績のあった人。または長年の選手活動で優れた成果をあげた人。優秀選手賞は①世界的規模のスポーツ競技会で入賞②全国的規模の競技会で優勝③日本記録を樹立した選手など。

この中で最も目を引くのはやはりスポーツ栄誉賞。これは福田赳夫・元総理が王貞治氏（現巨人軍助監督）に贈った国民栄誉章、鈴木俊一・東京都知事がマラソンの瀬古利彦選手（エスビー食品）に贈った都民栄誉章の"群馬版"に当たるもので、現行制度にはこの種の表彰がなかっただけに、スポーツ選手には朗報となる。

同賞の設定の直接のきっかけは今年の二月、フィンランドのヘルシンキで行われたスピードスケートの世界スプリント選手権大会で、総合優勝した黒岩彰選手の活躍で、受賞第一号は黒岩選手になることはほぼ確実とみられる。

新大関 朝潮は東張出
栃赤城、東十両2枚目

大相撲夏場所は五月八日から東京・蔵前国技館で行われるが、その新番付が二十五日朝、日本相撲協会から発表された。

幕内力士は一人増の三十六人となったが、新たな昇進者は東に張り出された新大関の朝潮一人だけ。この結果、五十三年夏場所（若三杉、旭国、三重ノ海、貴ノ花）以来五年ぶりの四大関となり、二横綱と合わせ、頭でっかちの番付という印象が強い。初土俵から31場所で大関になった朝潮は昭和に入り五十七人目。高砂部屋からは五十三人目で、高知県からは五十三年ぶり四人目。また学生相撲出身としては先代豊山、輪島に次いで三人目となる。

横綱は先場所全勝優勝した千代の富士が7場所連続の東正位で、西に北の湖。だが、北の湖が左ヒザと腰の故障で4場所連続の休場が確実視され、千代の富士も左肩脱キュウの古傷再発で、四十七年名古屋場所以来の横綱不在場所となる危険性もある。

関脇、小結陣は四人のうち三人が入れ替わったが、いずれもカムバック組で代わり映えしない。注目されるのは西から東に回った関脇の北天佑だ。三役で3場所連続勝ち越し、今場所10勝以上の星を挙げれば大関当確と予想される。

出羽の花は2場所ぶり、麒麟児は6場所ぶりの三役復帰である。

平幕は8勝7敗と一つ勝ち越しただけの力士が大躍進。中でも新興部屋の新鋭、大ノ国（放駒部屋）、旭富士（大島部屋）、それに"親子幕内"の逆鉾ら話題の力士の横綱、大関初挑戦が見ものとなりそうだ。

三十四歳の元小結、若獅子が連続69場所維持した関取の座から転落したのに代わり、五人が十両入り。新十両の輪鵬、花乃国の二人は花篭親方（元横綱輪島）が五十六年三月に部屋を継いでから初めて送り出した関取。初土俵の春場所、5勝2敗の成績にとどまったホープ、服部（同大―伊勢ノ海部屋）は25枚上がって西幕下35枚目に、また序ノ口から4場所連続大勝ちの"ハワイの怪物"小錦（高砂部屋）は同28枚目に躍進、再対決が期待される。

○…春の眠りを心ゆくまで楽しんだのか、新大関朝潮の顔は穏やかそのものだった。真新しい新番付にじっと目を据え「これで本当に（大関に）なったという気がする。やっぱり気分がいいですね」と一段と大きくなった自分のシコ名に満足そう。「まずは自分の地位に慣れ、前に出る相撲に徹し、もう一つ上（横綱）を狙える大関になりたい」と一語一語かみしめるように、心構えを述べる姿にはもう大関の貫録がにじみ出ていた。

五月人形の前で新番付を手に大喜びの新大関朝潮＝東京都台東区の高砂部屋で

郷土力士

【序ノ口】

西田	東19	（高崎）	大島
小野田	西37	（板倉町）	伊勢海
斉藤山	東56	（高崎）	湊

【序二段】

忍錦	西4	（草津）	春日野
島方	西21	（高崎）	春日野
旭堤	東40	（高崎）	大島
貞錦	東47	（新田）	春日野
魁王山	西47	（山田）	放駒

【三段目】

▷大光 改め

大宝輪	西29	（万場）	花籠

【幕下】

榛名富士	東12	（沼田）	大鵬
琴稲妻	西21	（新治）	佐渡嶽
宮内	東48	（伊勢崎）	春日野

大相撲夏場所新番付

【東】	部屋	旧			新	【西】	部屋	旧		
千代の富士	九重	東横綱	一	15勝0敗	横綱	北の湖	三保関	西横綱	一	全休
隆の里	二子山	西大関	一	12勝3敗	大関	琴風	佐渡嶽	東大関	一	11勝4敗
◎朝潮	高砂	東関脇	上1	12勝3敗	張大関	若島津	二子山	東張大	一	8勝3敗4休
北天佑	三保関	西関脇	一	12勝3敗	関脇	○出羽の花	出羽海	東前1	上2	11勝4敗
○蔵間	時津風	西前6	上6	8勝7敗	小結	○麒麟児	二所関	東前10	上10	10勝5敗
闘竜	三保関	東前7	上6	8勝7敗	前頭1	青葉城	押尾川	東前8	上7	8勝7敗
×巨砲	大鵬	西小結	下2	6勝9敗	2	大ノ国	放駒	西前9	上7	8勝7敗
高望山	熊ケ谷	西前12	上9	9勝6敗	3	舛田山	春日野	西前1	下2	6勝9敗
旭富士	大島	西前10	上6	8勝7敗	4	飛騨ノ花	二子山	西前11	上7	8勝7敗
板井	大鳴戸	東前13	上8	8勝7敗	5	逆鉾	井筒	西前13	上8	8勝7敗
大潮	時津風	西前5	下1	7勝8敗	6	栃光	春日野	東前6	一	7勝8敗
大豊	時津風	西前3	下4	5勝10敗	7	高見山	高砂	東前2	下5	4勝11敗
多賀竜	鏡山	西前2	下6	3勝12敗	8	斉須	伊勢浜	東前3	下5	4勝11敗
佐田の海	出羽海	東前5	下4	5勝10敗	9	×大寿山	二子山	東小結	下9	0勝2敗13休
東洋	花篭	東前9	下1	7勝8敗	10	嗣子鵬	大鵬	東前4	下6	4勝11敗
○鷲羽山	出羽海	東十3	上5	11勝4敗	11	若瀬川	伊勢浜	西前4	下7	4勝11敗
魁輝	友綱	西前8	下4	5勝10敗	12	富士桜	高砂	東前11	下1	7勝8敗
○騏ノ嵐	押尾川	東十2	上2	8勝7敗	13	玉竜	片男波	西前7	下6	4勝11敗
大徹	二所関	西十4	上3	9勝6敗	十両1	琴千歳	佐渡嶽	西十6	上5	10勝5敗
栃赤城	春日野	東十5	上3	9勝6敗	2	黒瀬川	伊勢浜	西十7	上5	10勝5敗
栃剣	春日野	東十4	上1	8勝7敗	3	天ノ山	時津風	東十1	下2	6勝9敗
鶴嶺山	井筒	西十3	下1	7勝8敗	4	魄竜	鏡山	西十2	下2	6勝9敗
栃司	春日野	東十9	上4	8勝7敗	5	大錦	出羽海	西十1	下4	5勝10敗
保志	九重	西十10	上4	8勝7敗	6	市ノ渡	時津風	西十12	上6	9勝6敗
天剛山	木瀬	西十11	上4	8勝7敗	7	陣岳	井筒	西十5	下2	6勝9敗
大富士	九重	東十12	上4	8勝7敗	8	神幸	伊勢浜	東十6	下2	6勝9敗
蜂矢	春日野	西十8	下1	7勝8敗	9	若の富士	九重	東十7	下2	6勝9敗
×鳳凰	二所関	東前12	下11	全休	10	○白岩	伊勢浜	東下9	上12	7勝0敗
播竜山	三保関	東十8	下3	6勝9敗	11	◎輪鵬	花篭	東下2	上4	6勝1敗
○栃泉	春日野	東下3	上4	6勝1敗	12	◎花乃国	花篭	西下1	上2	5勝2敗
○琴若	佐渡嶽	西下2	上2	5勝2敗	13	玉輝山	片男波	東十11	下2	7勝8敗

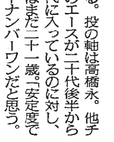
【注】◎は新、○は再、×は降下

国体代表めざして〈下〉
信越化学

鉄壁の守りにみがき

昨年は、同リーグを勝ち抜き国体初出場を決めた。選手補強が思うにまかせず、これまで全国大会から遠ざかっていたが、「古豪復活」を印象づけた国体出場。"つらい練習もやはり勝たないことには報われない。昨年の出場で勝つ喜びを知った"と金田監督は話し、連続出場にターゲットを合わせる。

若手の加入で力を盛り返してきたのはここ二、三年。現在はベテランと若手の交代期にも当たっている。吉村、白石といったベテラン勢にとっても気合が入る。活躍が期待されるシーズンでもある。



高橋永年選手

守りのチームだ。「点をやらないチームになった。それだけ"1点"に執着するようになった」と監督は近年の変ぼうぶりを指摘する。投の軸は高橋永。他チームのエースが二十代後半から三十代に入っているのに対し、高橋はまだ二十一歳。「安定度では県下ナンバーワンだと思う。スタミナは問題ない」と監督は全幅の信頼を置いている。高橋とバックで守り切り、一発を待つ―これが信越のパターンである。

今大会は過去の例にない九日間のロング・ラン戦。各チームとも一気に飛ばして―と青写真を引くが、金田監督は「最後までもつれるのではないか」と大会を冷静に受け止める。最後までもちこたえられる精神力が長期戦を制するカギ、と踏む監督。「最後まで残る自信はある」。技術力は負けないし、まとまり、チームワークという点ではアリがはい出るスキもないほど」とベテラン、若手がガッチリ固まった布陣を自負する。

今季はリーグ戦を前提に、早めに調整を行ってきたが、まずは好調な仕上がり。豊田、池田、田中といった新人戦力の動向にも注目されそうだ。

【信越化学磯部工場】

	氏名	身長	体重	投打	出身校
▷監督	金田 年弘				高崎高
▷選手 投手	高橋 永年	173	65	右右	高崎商
	後藤 友彦	170	60	右左	松井田
	△豊田 剛正	175	68	右右	育英
	△池田 尚登	170	69	右右	高崎工
	往住 洋一	165	70	右右	下仁田
捕手	苫村 和夫	172	75	右右	高崎商
	蒔田 孝博	172	68	右右	足工大附
	高橋 正	170	64	右右	育英
内野	山田 史生	170	85	右右	高崎工
	白石 初二	163	62	右右	農大二
	鈴木 一行	171	67	右右	農大二
	荻原 勝信	162	53	右左	育英
	△田中 耕一	174	64	右右	前橋商
	◎米山 勉	168	63	右右	農大二
	金井 幸雄	173	64	右左	蚕糸
外野	須藤 隆之	173	67	右右	蚕糸
	岡本 哲夫	168	71	右右	富岡
	浅見 篤	171	61	右右	中之条
	桐木 一	165	55	右左	高崎商
	萩原 英樹	172	62	右右	農大二

（◎は主将、△は新人）

今節の見どころ プロ野球
ストップ巨人成るか
パは近鉄―西武に注目

昨年優勝の中日が前半、本拠地に巨人を迎えての3連戦。今季初めての顔合わせで、中日が独走気配の巨人にストップをかけるか注目される。パ・リーグは首位から最下位まで3ゲーム差の混戦。今節も星のつぶし合いとなりそうで、好カードは前半の近鉄―西武だ。

▽セ・リーグ

本命巨人がハイペースで走る。これを止めないと、ペナントの興味はどこかへ飛んでしまう。前半の中日と後半の大洋。両チームの責任は極めて重くなった。

とりわけ中日には、チャンピオンの意地をかけてもらいたい。それには、第1戦の先発が予想される西本聖をたたくことである。今季絶好調のエースを崩せば、巨人の勢いをくじくことができる。

中日昨季の対西本聖は3勝無敗で、データ的にも有利。投手陣の足元を揺さぶって、乱戦を得意とする大洋にバトンタッチできれば面白い。

ただ一つ面目を保っている阪神は大洋、広島と対戦する。ここで取りこぼせば、巨人をのんびりさせるばかり。投手陣がさらに奮起し、来節前半ぶつかる巨人にプレッシャーをかけておく必要がある。

▽パ・リーグ

西武はチーム状態が決して万全でないのに、7勝4敗1分けで首位に立っている。1試合平均5点以上をたたき出す打線の働きに負うところが大きい。それだけに、近鉄―西武の焦点は近鉄投手陣が西武打線をどうかわしていくかにある。

両チームは前節顔合わせして1勝1敗だった。近鉄は柳田の力投と小刻みなリレーで1勝したものの、敗戦の方は継投策が裏目に出た。本拠地日生に迎える今節の3連戦は柳田、鈴木啓、谷宏の先発が予想される。これら先発投手の踏んばりはもちろんだが、村田、山口を挟んで鈴木康につなぐ展開に持ち込めれば、勝ち越しの可能性も膨らむ。

ヤクルトから移籍の鈴木康は独特のナチュラルシンカーが主武器で、西武1回戦でもその威力を発揮して初セーブをマークした。どちらかといえば、西武はこうしたタイプに弱いだけに、近鉄としては先手を取って鈴木康で逃げ込むパターンに引き込みたいところだ。（幸山、田坂）

「4番」こなすムード派
南海・香川捕手

もともと乗りやすい性格だから、「四番」にはすっかり気をよくしている。門田が負傷欠場した穴を埋める、ここ5試合の働きがすごい。18打数9安打の5打点。「チームのためになっている？ そりゃあ、満足しています。思っているのと違う球がきても、自然にバットが出ますねん」

ブレイザー前監督に「減量」を命じられては、口をとがらせていたのがうそのようなはつらつさ。穴吹監督の信頼をしっかり受け止めて、不言実行タイプに変身している。

好調ぶりは数字が語る。開幕から安打が出なかったのは1試合だけ。目下7試合連続安打で打率4割5分5厘は打撃2位。6本の二塁打には「足を生かしているんです」と、太鼓腹を揺すった。

4番に座り大当たりの南海・香川

プロ野球 今節の日程

㊂セ・リーグ第４節

日	曜	カード	時刻・球場
4・26	（火）	ヤクルト―広島	（18時30分・神宮）
		大洋―阪神	（18時20分・横浜）
		中日―巨人	（18時20分・ナゴヤ）
27	（水）	ヤクルト―広島	（18時30分・神宮）
		大洋―阪神	（18時20分・横浜）
		中日―巨人	（18時20分・ナゴヤ）
28	（木）	ヤクルト―広島	（18時30分・神宮）
		大洋―阪神	（18時20分・横浜）
		中日―巨人	（18時20分・ナゴヤ）
29	（金）	ヤクルト―中日	（18時30分・神宮）
		大洋―巨人	（18時20分・横浜）
		阪神―広島	（18時20分・甲子園）
30	（土）	ヤクルト―中日	（18時30分・神宮）
		大洋―巨人	（18時20分・横浜）
		阪神―広島	（15時・甲子園）
5・1	（日）	ヤクルト―中日	（18時30分・神宮）
		大洋―巨人	（18時20分・横浜）
		阪神―広島	（14時・甲子園）

㊂パ・リーグ第４節

日	曜	カード	時刻・球場
4・26	（火）	ロッテ―南海	（18時20分・川崎）
		近鉄―西武	（18時15分・日生）
		阪急―日ハム	（18時15分・西宮）
27	（水）	ロッテ―南海	（18時20分・川崎）
		近鉄―西武	（18時15分・日生）
		阪急―日ハム	（18時15分・西宮）
28	（木）	ロッテ―南海	（18時20分・川崎）
		近鉄―西武	（18時15分・日生）
		阪急―日ハム	（18時15分・西宮）
29	（金）	日ハム―ロッテ	（18時・後楽園）
		南海―西武	（18時15分・大阪）
		阪急―近鉄	（14時・西宮）
30	（土）	日ハム―ロッテ	（14時・後楽園）
		南海―西武	（13時・大阪）
		阪急―近鉄	（15時・西宮）
5・1	（日）	日ハム―ロッテ	（13時30分・後楽園）
		南海―西武	（14時・大阪）
		阪急―近鉄	（14時・西宮）

セ・投手成績（第３節終了）

	防御率	試合	勝数	敗数	セーブ	回数	自責点
①槙原（巨）	0.47	3	2	0	0	19⅓	1
②西本聖（巨）	1.33	3	3	0	0	27	4
③野村（神）	1.50	2	1	0	0	12	2
④小林（神）	1.59	3	2	1	0	22⅔	4
⑤定岡（巨）	1.62	3	2	1	0	16⅔	3
⑥工藤（神）	1.69	2	1	1	0	16	3
⑦松岡（ヤ）	2.12	3	1	0	0	17	4
⑧尾花（ヤ）	2.93	4	1	2	1	27⅔	9
⑨川口（広）	3.00	2	0	1	0	9	3
⑩遠藤（洋）	3.21	2	0	1	0	14	5

パ・投手成績（第３節終了）

	防御率	試合	勝数	敗数	セーブ	回数	自責点
①中居（ロ）	1.69	4	1	0	0	16	3
②山田（急）	1.73	3	1	2	0	26	5
③川原（日）	1.80	4	0	0	0	10	2
④鈴木啓（近）	1.89	2	1	0	0	19	4
⑤岡部（日）	2.03	2	0	1	0	13⅓	3
⑥山内和（南）	2.40	2	2	0	0	15	4
⑦山沖（急）	2.65	2	1	0	0	17	5
⑧山内孝（南）	3.24	3	1	1	0	25	9
⑨藤田学（南）	3.32	3	1	1	0	19	7
⑩永本（急）	3.47	3	2	1	0	23⅓	9

セ・リーグ勝敗表（第３節終了）

	試合	勝数	敗数	引分	勝率	差
①巨人	12	10	2	0	.833	
②阪神	10	6	4	0	.600	3.0
③中日	9	4	5	0	.444	1.5
④大洋	11	3	5	3	.375	0.5
④ヤクルト	9	3	5	1	.375	0.0
⑥広島	9	1	6	2	.143	1.5

パ・リーグ勝敗表（第３節終了）

	試合	勝数	敗数	引分	勝率	差
①西武	12	7	4	1	.636	
②ロッテ	10	5	3	2	.625	0.5
③近鉄	10	4	3	3	.571	0.5
④阪急	11	4	5	2	.444	1.0
⑤南海	12	4	6	2	.400	0.5
⑥日ハム	9	3	6	0	.333	0.5

セ・打撃成績（第３節終了）

	打率	試合数	打数	安打	本塁打	打点	勝利打点
①掛布（神）	.438	10	32	14	2	5	1
②真弓（神）	.432	10	37	16	1	6	1
③谷沢（中）	.395	9	38	15	3	12	2
④若松（ヤ）	.364	9	33	12	2	6	1
⑤上川（中）	.360	9	25	9	1	5	1
⑥岡田（神）	.351	10	37	13	3	9	0
⑦山本浩（広）	.345	9	29	10	2	10	0
⑦渡辺（ヤ）	.345	9	29	10	0	2	0
⑨屋鋪（洋）	.344	11	32	11	1	5	0
⑩トレーシ（洋）	.340	11	47	16	0	4	0
⑪駒田（巨）	.333	11	36	12	1	10	0
⑪田尾（中）	.333	9	33	11	1	7	0
⑪淡口（巨）	.333	12	33	11	0	3	0
⑭スミス（巨）	.323	11	31	10	2	8	2
⑮山崎（広）	.314	9	35	11	1	7	0

パ・打撃成績（第３節終了）

	打率	試合数	打数	安打	本塁打	打点	勝利打点
①栗橋（近）	.467	10	30	14	2	9	1
②香川（南）	.455	12	44	20	0	7	1
③井上（ロ）	.406	10	32	13	1	9	0
④簑田（急）	.395	11	38	15	3	6	1
⑤テリー（西）	.375	12	48	18	5	16	2
⑥高代（日）	.367	9	30	11	0	6	0
⑦定岡（南）	.359	12	39	14	0	5	1
⑧土肥（ロ）	.355	10	31	11	1	4	0
⑨スティーブ（西）	.350	12	40	14	1	7	2
⑩羽田（近）	.343	10	35	12	1	8	1
⑪田淵（西）	.333	12	45	15	1	6	1
⑪平野（近）	.333	10	36	12	0	3	0
⑪水上（ロ）	.333	10	36	12	0	2	1
⑭大宮（日）	.321	9	28	9	1	4	0
⑮松永（急）	.308	11	39	12	2	4	0

富士、拓銀に快勝

◇社会人野球日立市長杯（25日・日立市逢瀬球場）

▽二回戦

拓銀（北海道）	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
富士重工	0	0	0	0	3	0	0	1	1×	5

（拓）中村、市村―竹内（富）松村、谷―増岡▽本塁打 山本（拓）▽三塁打 坂田（拓）▽二塁打 富永（富）

成年男子は郗松選手
県春季アーチェリー

県春季アーチェリー大会（県アーチェリー協会主催）が二十四日、佐波郡境町の若見アーチェリーレンジで二十六選手が参加して開かれ、少年男子、成年男子、少年女子、成年女子の四部門ごとに優勝を争った。この日は晴れで微風、気温27度と絶好のコンディションに恵まれ、各人がのびのびプレー。男子は90㍍、70㍍、50㍍、30㍍、女子は70㍍、60㍍、50㍍、30㍍の四種目の合計点でそれぞれ順位を決めた。

成績は次の通り。

▽少年男子 ①磯貝正（蚕糸）1139②鈴木理一郎（沼田）1099③阿部一博（同）1061④飯塚信之（藤岡北）⑤小沢武（沼田）⑥岡誠一（藤岡北）▽成年男子 ①郗松直幸（伊勢崎）1156②本村邦洋（同）1149③野村守（太田）1142④宮田義朗（同）⑤高田晔（同）⑥四十萬文男（桐生）▽少年女子 ①林玲子（沼女）1138②長井元子（藤岡北）1093③大島明子（沼女）987④宇敷かよ子（同）▽成年女子 ①斎藤由紀子（高崎）1104②増茂美枝子（桐生）997

真剣に的を射る選手たち

「NO１」の技、披露
日大バスケット部 群馬選抜と交歓試合

大学バスケットボール界"ナンバー1"クラスのわざを見てもらおうと二十四日、日大バスケット部が利根郡月夜野町の同町総合体育館で、あかぎ国体の選手たちをそろえた群馬選抜チームと交歓親善試合を行った。さらに同部を率いて、名監督として知られている細島彰氏（50）が沼田高、利根商のバスケット部員を指導した。会場には小・中・高校生やバスケットファン約千人が見学に訪れて、選手たちのランニングショットなどのわざに歓声をあげていた。

この親善試合は利根沼田バスケットボール協会（丸山康司会長）が主催したもので、身長２１０㌢の束出浩一選手など日大メンバーは成年群馬選抜（男子）と対戦。親善試合は総合力で勝る日大が91―72で勝ったが、群馬選抜も篠原保夫、伸之兄弟らの活躍で善戦した。

試合前、日大の細島監督の指導があり、沼田高と利根商バスケット部合わせて三十人が参加。日大を率いて十九年という名監督の手ほどきに、高校生部員たちは真剣な表情。指導はフットワークから守備、攻撃など全般にわたり、チームワーク面では黒板に図を描いて説明するなど、熱心に"バスケット術"を教授した。

会場ではフリースロー大会も開かれ、二投中一本入った勝ち残り組で三投二本、さらに一投一本を果たした五人に、今回の日大バスケット部招待に骨を折った沼田市のスポーツ店から賞品が。同大会には一般から百人近くが参加した。

日大選手のわざを見ようと交歓試合前の練習では、フリースローレーン内でボールが渡ると必ず入れてしまうという束出選手のダイナミックなダンクショット（リングよりボールを持った手が上にあがり、たたき込む）などに、小中学生ファンから「ワー」という歓声があがっていた。

沼田高、利根商バスケット部員の指導にあたる日大の細島監督

青木5位に食い込む
チャンピオンズ・ゴルフ 優勝はワドキンス

【カールスバッド（米カリフォルニア州）二十四日共同】米プロゴルフツアーのトーナメント・オブ・チャンピオンズ最終日は二十四日、当地のラコスタ・カントリークラブ（パー72）で最終ラウンドを行い、ラニー・ワドキンス（米国）が通算8アンダーの280で昨年に続き優勝した。

青木功は最終ホールでダブルボギーとしたものの、この日70、通算284で、5位タイに食い込んだ。

前日首位に立ったワドキンスは、終盤スコアを崩したが、この日69と追い上げたレイ・フロイド（米国）に1打差をつけて逃げ切り、今季2勝目を挙げた。青木は17番まで通算6アンダーとスコアを伸ばした。しかし、最終18番で第2打をバンカーに入れ、痛恨のダブルボギー。最終日は70となり、ボビー・クランペット、ファジー・ゼラー（ともに米国）と並んだ。

同トーナメントは過去一年間のツアー優勝者によって争われた。

▷チャンピオンズ最終成績

－8	①L・ワドキンス	280	（67・70・71・72）
－7	②R・フロイド	281	（68・72・72・69）
－6	③J・ハース	282	（70・70・69・73）
－5	④H・サットン	283	（67・70・72・74）
－4	⑤青木功	284	（73・69・72・70）
	⑤クランペット	284	（72・71・70・71）
	⑤F・ゼラー	284	（74・72・68・70）
－3	⑧W・レビ	285	（72・69・74・70）
－2	⑨C・スタドラー	286	（69・73・73・71）
－1	⑩J・ニクラウス	287	（65・72・77・73）
	⑩C・ピート	287	（71・71・74・71）

チャンピオンズ・ゴルフ最終日、青木は70と頑張り5位に食い込む

ステーシー優勝
SアンドH女子ゴルフ

【セントピータースバーグ（米フロリダ州）二十四日AP・SW＝共同】米女子プロゴルフツアー、SアンドHクラシック最終日は二十四日、当地のパサディナ・ゴルフクラブ（パー72）で最終ラウンドを行い、ホリス・ステーシー（米国）が通算11アンダーの277で優勝、賞金二万二千五百㌦（約五百四十万円）を獲得した。ステーシーは今季初勝利で通算12勝目。6打差の2位はパティー・シーハン、デディー・ラスカー（ともに米国）。

日本の岡本綾子はこの日乱調で82と大きく崩れ、通算10オーバーの298で60位タイに終わった。

男子、桐市商 女子は新島

◇関東高校バドミントン大会県予選会（24日・桐生市民体育館）

【男子】▽二回戦 桐市商 2―0 桐工、農大二 2―0 前工、前商 2―0 沼田、太市商 2―0 前南、高工 2―1 藤工、伊工 2―0 育英、館林 2―0 桐西、桐生 2―0 中央▽準々決勝 桐市商 2―0 農大二、太市商 2―0 前商、高工 2―1 伊工、桐生 2―0 館林▽準決勝 桐市商 2―0 太市商、桐生 2―0 高工▽決勝 桐市商 2―0 桐生

※桐市商、桐生、太商、高工、前商、館林の六校が関東大会（6月4日から桐生市で開催）に出場。

【女子】▽二回戦 新島 2―0 農大二、前女 2―0 伊女、太女 2―0 前市女、桐市商 2―0 吉井、渋女 2―1 大泉、高市女 2―1 前商、太田西女 2―0 桐南、前東商 2―0 伊市女▽準々決勝 新島 2―0 前女、桐市商 2―0 太女、渋女 2―0 高市女、前東商 2―0 太田西女▽準決勝 新島 2―0 桐市商、前東商 2―0 渋女▽決勝 新島 2―1 前東商

※新島、前東商、桐市商、渋女、前女、太田西女の六校が関東大会へ。

競技成績

◇県サッカー高校総体（24日・育英グラウンドほか）▽一回戦 前橋東 2―1 農大二、桐生西 3―2 長野原、利根商 4―1 榛名、高崎北 6―0 甘楽農、太田 2―1 伊勢崎東、館林 2―0 太田工、太田商 4―0 大泉、桐生工 2―1 桐生商

◇天皇杯サッカー県予選（24日・群馬高専グラウンドほか）▽三回戦 桐生ク 3―2 群馬工専、子持ク 3―1 榛東ク、前橋ク 1―0 月夜野ク、甘楽ク 2―1 城南ク、前橋工 4―0 日立高崎、群馬教員 6―0 蹴友会、吉岡ク 6―0 境クラブ、榛名クラブ 3―1 FC館林

◇日本ゲートボール協会公認三級審判員試験合格者（3、4月分）▽前橋 小畑貞雄、田代長太郎、阿左美柳三郎、北爪武一、小林きわ、岡野まき、大島利男▽北群馬 岩田喜嗣、平形政一▽勢多 海老根ふみ枝、石坂友司、高山政行、佐藤ふく、狩野文代、角田孝之▽伊勢崎 五代政治、木暮守三郎、横山高繁、天田春吉、久保田実▽佐波 斉藤かづよ、深町きく▽太田 小林憲次、菱沼孝司、青山久江▽桐生 森謙吉▽新田 吉田澄子▽邑楽 秋野公江、長沢竜夫▽利根 小林義一、岡村静江▽高崎 金井幸三郎、松田三郎、武井恒寿、小池広三▽吾妻 高原茂文、野上喜八▽富岡 笠原嘉三郎、古間吉作、伊藤デン▽館林 千葉広寿▽渋川 加藤竜男▽吾妻 黒岩篤太郎、中沢一郎、黒岩兼平、黒岩丑治、阿部健二郎、黒岩美吉、松本芳市、黒岩孝、戸嶋忠吾、福島愛治、中沢夏太、都筑二郎、笠原文一、田村一男、吉田悠一、黒岩盛▽渋川 安藤実▽沼田 西山菊一郎▽藤岡 高津作太郎、野村徳之助、岸文作▽多野 茂木政志、吉田一雄、吉田たけ、清水静子、河原操、浅野たみ、峯崎瑞子、横沢和枝、田中清助、伊藤丹次郎、原時江、蛭名恭

きょうのスポーツ

【県外】

◇野球 東都大学春季リーグ戦第四週第一日 専大―日大、駒大―亜大（11時30分・神宮）▽社会人岡山大会第四日（9時・岡山）

◇将棋 第四十一期「名人戦」第二局第一日（9時・熱海「清光園」）

きょうのプロ野球

◇セ・リーグ ヤクルト―広島（18時30分・神宮）大洋―阪神（18時20分・横浜）中日―巨人（18時20分・ナゴヤ）

◇パ・リーグ ロッテ―南海（18時20分・川崎）近鉄―西武（18時15分・日生）阪急―日本ハム（18時15分・西宮）

ご会葬お礼

弊社取締役社長 故三原博儀 の社葬に際しましてはご多忙中ご遠路わざわざご会葬を賜りまして誠に有難く厚くお礼申し上げます

昭和五十八年四月二十六日

三原工業株式会社

専務取締役 檜垣俊昭

喪主 三原豊章

外 親戚一同

ご会葬お礼

故大竹八重子儀 告別式に際しましてはご多忙中にもかかわらずご会葬下され且つご鄭重なる芳情を賜りご芳志の程誠に有難く厚くお礼申し上げます

昭和五十八年四月二十六日

前橋市表町二丁目一〇の一五

喪主 大竹寅三

外 親戚一同

有限会社 大竹材木店